

狭山市の1年を振り返って

平成15年の主な出来事

行政



7月30日、仲川幸成・第5代
狭山市長が初登庁



9月18日～30日、市町村
合併説明会を市内9会場
で開催し、10月には合併
に関する市民意識調査を
実施しました



▶11月には行財政改革プランを策定
し、平成15年度～19年度に市が取り
組む課題を示しました

今年狭山市では、いろいろな出来事がありました。
4月には、さやまインキュベーションセンター21
が完成し、狭山市から新産業の創出を目指して起業
家の受け入れを開始しました。環境でも、さまざまな
進捗がありました。くぬぎ山地区では、市内最後の煙
突が撤去されるとともに、自然再生事業に着手して
います。また、環境負荷の軽減のため、10月に第一環
境センターでの焼却を停止したり、市民皆さんのご
協力で廃プラスチックの試行収集も始まりました。
小学校では、外国語早期教育が構造改革特区の認定
を受け、9月から英語の授業が始まりました。また、
来年開催される彩の国まごころ国体に先立ち、3競
技ソフトテニス、ゴルフ、ボウリングのりハーサル
大会が開催され、大勢の選手が狭山市を訪れました。
一方、今年ほど選挙が多かった年もなかったのでは
ないでしょうか。4月の統一地方選挙をはじめ、市
長選挙など、狭山市では6つの選挙が行われました。
今月は、狭山市の1年を振り返り、主な出来事をお
届けします。

日、狭山市と入
結ぶ豊水橋が
りに掛け替え
渡り初めが行
した

の完成に向け、
新都市線の整
めています

を友とし地球
い都市・さや
指して、新しい
計画を策定し

の負荷を軽減
、10月1日、第
ンターの焼却
ました。また、
毎月2日に実
たノーレジ袋
月から毎月「2
22日」に増や
るごみの減量
います。

教育・文化

▶ 構造改革特区(第二次認定)に外国語早期教育が認定され、9月から小学校で英語活動が始まりました



● 3月、笹井ダム上流から出土したアケボノゾウの骨格化石が県指定文化財(天然記念物)に指定されました。また、11月には奥富の「西方囃子」と柏原の「柏原祇園囃子」を市の無形民俗文化財に指定しました。

健康・福祉



◀ 9月12日、新狭山に、そして10月1日、中央児童館に親子交流施設がオープンしました

● 聴覚障害者などの日常生活の円滑化と社会参加の推進を図るため、手話通訳者派遣制度がスタートしました。また、訪問理容・美容サービスなどの高齢者福祉サービスを拡充しています。

その他

▶ 8月11日、市民皆さんの貴重な生命や財産を守り、生活福祉のさらなる向上を図るため、狭山・所沢・入間市の消防広域組織の設立に関する協定を締結しました



● 2月1日から、これまでのiモードに加え、EZweb・Vodafone live!でも公共施設予約ができるようになりました。また、狭山市公式モバイルサイトが6月5日にEZweb、8月4日にiモードの公式メニューになりました。

都市整備



◀ 2月8日間市を74年振られ、われま



◀ 16年(仮称)備を進

環境



◀ 「みどりにやさしま」を目標環境基本しました



11月、廃プラスチックの分別収集をモデル地区で開始しました

● 環境へするため一環境セを停止しこれまで施していデーを11日・12日・し、さらなに努めて